



# 防災カフェ



## —災害用伝言ダイヤルで 安否確認—

コロナ感染症などの影響で、離れて暮らす家族や親せき、友人・知人と会うことが制限されていたかたも、お正月の挨拶や年賀状などでその近況を確認して一安心されたかたもいるのではないのでしょうか。

何かあったときに大切な人と連絡が取れないということは、誰しも不安を感じてしまうものです。特に災害が発生し、連絡を取りたくても電話がつながらず、その無事を確認できないときは心配で居ても立っても居られない状況になります。そんな時に利用したいのが「災害用伝言ダイヤル」です。

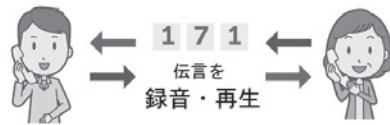
災害用伝言ダイヤルは、大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑してつながりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親せき・知人等と連絡を取ることができるものです。使い方は、「171」をダイヤルし、音声ガイ

ダンスに従って伝言の録音や再生を行う簡単なものですが、録音時間や残せる伝言の数には制限があります。

使用方法に不安なかたは、事前に体験しておくことができ、今年1月は1日から3日、及び15日の午前9時から21日午後5時の間で体験することができますので、ご家族やご友人、またはご自身で体験してみたいでしょうか。

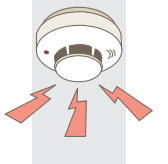
なお、芦別市防災ガイドブックの裏表紙に災害用伝言ダイヤルの利用方法について掲載していますが、詳しい内容は下記のNTTホームページでご確認ください。

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

## 住宅用火災警報器を点検しましょう



平成16年消防法の改正により、全国一律に住宅用火災警報器を設置し維持することが義務付けられ、新築住宅は平成18年6月から、既存住宅も条例の規定により平成23年6月までに順次設置が義務化されました。

住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから10年以上が経過し、せつかく取り付けた住宅用火災警報器も、いざというときに正常に作動しなければ意味がありません。

安全な生活のために日頃の点検をお願いいたします。

○点検の方法 住宅用火災警報器の点検ボタンを押して（ひもを引いて）作動音を確認します。（年2回程度）

①正常「ピッ」 正常です、「ピーピーピー」火事です、「ピーピーピー」と鳴ります。

※機種により作動音が異なります。

②異常「ボタンを押して（ひもを引いても）無音の場合は、電池の接続不良または、故障が考えられます。取扱説明書の確認やメーカーへの問合せをしてください。

○電池切れや故障 電池切れや故障時には、なにもしていないのに作動音が鳴ります。

①電池切れ「一定の間隔で「ピッ」電池切れです」や「ピッ」と鳴り、作動表示灯が点滅し、電池の容量不足や交換の時期をお知らせします。取扱説明書を確認して、電池の交換または、住宅用火災警報器本体の交換をしてください。

②故障「一定の間隔で「ピッピッピッ」故障です」や「ピッピッピッ」と鳴り、作動表示灯が点滅し、住宅用火災警報器の異常をお知らせします。

取扱説明書の確認やメーカーへの問合せをしてください。

○その他の注意事項 脚立や椅子等を使用して、お手入れや点検を行う場合は、転落事故等に十分注意してください。今後とも継続して、安心して生活をしていたくためにも、定期的な点検を行い作動音の確認をするとともに、電池の寿命がきましたら電池交換や住宅用火災警報器本体の交換をお願いします。

●詳細 芦別消防署予防係 ☎22・3106